

西村大臣の会見概要（関連部分のみ）

日時：令和2年7月17日（金）17:35～18:12

場所：合同庁舎8号館1階S101・103 会見室

（大臣）本日午前にシンガポールのチャン・チュンシン貿易産業大臣と電話会談をいたしました。

アフターコロナにおけるＴＰＰ11の意義を中心に幅広く意見交換をして、次の５点について認識を共有いたしました。１点目が、経済回復においてＴＰＰ11等を通じた自由貿易の推進が重要であること。２点目として、ＴＰＰ11がサプライチェーンの強靱化やデジタル化の実装などの観点から、アフターコロナの世界経済を進化させていく上で重要な役割を担い得ること。そのため、ＴＰＰ11の進化が重要であること。また、日本時間の８月６日午前になるかと思いますが、第３回のメキシコが議長国のＴＰＰ閣僚委員会の成功に向けて、引き続きシンガポールと日本がしっかりと連携し協力していくこと。４点目として、二国間関係ですが、ビジネス関係者の往来の早期再開を期待すること。５点目として、デジタル経済に関して、二国間での協力を強化していくこと。この５点について認識を共有いたしました。

日本としては、まさにＴＰＰ11の主要なパートナーでありますシンガポールとともに、ウィズコロナ、アフターコロナにおいて、ますます緊密に連携していく所存であります。

※記者からの質問はなし。

（以上）